

成果報告書

地域部活動推進事業

担当部署	群馬県教育委員会		
所在地	群馬県邑楽郡千代田町	運営形態	地域移行 県・町運営型
運営主体	千代田町教育委員会 千代田町立千代田中学校(吹奏楽部)		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・休日の部活動を受け入れる地域団体や指導者の確保。 ・休日の部活動を受け入れる地域団体や指導者との連携及び休日の部活動の運営（指導方針や役割分担の確認、責任の所在の明確化、規則等の整備） ・部活動に対する各家庭(保護者)の意識の違い 		
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域人材(指導者)、教育委員会が連携・協力した地域部活動のあり方を検討。 ・実施校の部活動において、月2回以上休日に地域指導者のみの活動を実施し、部活動を行う教員(顧問)の業務の軽減及び専門的な指導による生徒の技術の向上及び部活動の充実を図る。 		
団体・組織等の連携	<p style="text-align: center;"> 群馬県教育委員会 <small>群馬県部活動運営の在り方検討委員会</small> 千代田町教育委員会 <small>運営面の整備</small> <small>休日の部活動の実践</small> </p> <p style="text-align: center;"> 千代田中学校 地域指導者 </p> <p>○千代田町教育委員会: 学校及び指導者と連携し、本事業を中心的に推進 ○千代田中学校 : 実施校として指導者を活用した平日、休日の部活動の運営</p>		
拠点校等	千代田町立千代田中学校		
活動場所	千代田町立千代田中学校 コスメ・ニスト千代田町プラザ ホール		
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度より部活動指導員として指導している方に指導をお願いした。 ・指導者派遣期間 4月下旬～2月 ・平日、休日を含め、週に2～3回(1回につき2～3時間程度)月に2回程度の休日の指導を実施。 ・コンクールへ参加のスケジュールを考慮して、4月下旬より指導者の派遣を開始。 ・コンクール前などには、派遣回数を増やすなどの措置を行う。 		

○本事業による成果

【生徒】

- ・演奏に関する専門的な指導や、技術の向上にむけた効率的な練習の実施により、活動への意欲が高まった。
- ・同一の指導者による継続した指導が実施できたことで、指導方針の一貫性を保つことや安定した練習環境を整えることができた。また、指導者による積極的なコミュニケーションにより、良好な人間関係が築けているので、保護者からの理解も得られやすく、部活動指導員から本事業へスムーズに移行することができた。

【学校】

- ・技術指導だけでなく、生徒指導的(精神的)な面での指導も行っていたり、生徒の人間的な成長につながることもできた。また、顧問と合奏指導や個別指導の在り方等について情報交換することで、職員の職能成長につながった。
- ・専門家が指導に関わるだけでなく、顧問をサポートできる体制を整えられたことで、顧問の精神的な負担軽減にもつながった。

【指導者】

- ・子どもたちに対して、専門的な指導を継続して行うことで、1人1人の生徒の成長を実感することができ、指導者としての達成感ややりがいを感じることもできた。
- ・継続して指導する環境が整い、生徒との良好な関係を築けるようになったことで、演奏や技能面等について細かな点まで指導を浸透させられるようになった。

○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・学校生活であった部員同士の悩みやトラブルなど、参加する生徒の様子や状況について、部活動を開始する前に指導者と顧問で情報交換を行った。また、地域指導者の指導が適切に行われるよう、活動後には管理職との情報交換も行い、指導の様子や活動の状況等を確認できるようにした。
- ・教育委員会が定期的に指導者、学校と情報交換する場を設定し、事業の進め方、指導の方法などを相談、共有した。
- ・コンクール直前には、町の施設であるコスメニスト千代田町プラザホールを利用した練習を計3回行った。
- ・指導者からは生徒自身が主体的に活動に取り組んでいけるようにするため、技術指導だけでなく、部活動の運営のあり方や演奏者としての振る舞い、態度、ステージでのマナー等も指導してもらった。

○運営上の工夫

- ・生徒の活動については「千代田中学校部活動方針」に沿った活動とした。
- ・指導者が部活動指導員から継続して指導しているため生徒、保護者、顧問、指導者ともにコミュニケーションが取れており、以前と変わりなく事業を進めることができた。
- ・休日に地域指導者による指導を行う場合は、吹奏楽部の顧問が交代で学校の施設を管理することとした。
- ・一町一校の学校のため、町からの協力体制が整っており、コンクール前の練習場所や楽器運搬などで町の施設や公用車を使用することができた。町の施設であるコスメニスト千代田プラザホールの利用料は無料となった。

○継続的な運営に関する課題

- ・地域人材である指導者の確保、選定が大きな課題となる。専門的な指導ができる指導者を必要とする中学校の部活動はあるが、学校、生徒や保護者と人間関係づくりを行いながら指導できる指導者を見極め、選定することが必要である。また、地域という範囲を千代田町という範囲にするのか、千代田町広域とするのかによっても指導者の選定は変わってくる。指導者ありきの活動であるが、人が人を教える活動なので、指導者の選定が一番大事なところとなる。
- ・地域の1つの団体が部活動を担うのではなく、地域で子どもを育てるためには他の団体等とも調整し、複数の団体が担う必要がある。教育委員会が中心となり調整をすすめるため、行政と地域の関わり方が重要である。
- ・休日の活動では、練習会場の開錠と施錠は職員が行うため、完全に指導者に任せることができなかった。教員の働き方改革に向けて、ホールや公民館等学校以外での練習会場の確保も検討したい。
- ・指導者への謝金や活動費用を完全に受益者負担にすることは、現段階では難しいため、地域移行に向けた財政的な基盤づくりが必要である。
- ・地域に開かれた活動に向けて、千代田中学校の吹奏楽部以外の生徒の受け入れも今後の検討課題である。
- ・生徒、保護者に対して学校部活動から地域クラブ活動への移行について十分周知する必要がある。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

- ・国からの方針を受けて、町としてどのような地域移行が可能か、どの部活が地域移行できるのかを地域の実情と照らし合わせながら、検討していく。
- ・平日の活動と休日の活動を一体的に考えていくのは難しいので、まずは休日の活動を地域移行していく方向で進める。
- ・「部活動の指導を今後も行いたい教職員」に対しては、兼職兼業で対応していくための希望調査等を実施していく。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	千代田中学校生徒28名
	募集方法	千代田町立千代田中学校吹奏楽部在籍生徒が参加
指導者	人数等	1名
	募集方法	R2. 3の部活動指導員を指導者として派遣(音楽家)
参加者の移動手段		原則は該当校で実施する。 学校外で実施する場合は保護者による送迎。 コンクール時は借り上げバスによる送迎
活動費用	指導者謝金等	指導者謝金 1600円/時(210時間)
	その他	借り上げバス代(コンクール時) 79,440円 楽器運搬トラック代(コンクール時) 40,480円
活動財源	会費	保護者負担経費なし
	その他	
スケジュール	基本活動	週2~3回(1回につき2~3時間程度) 月に2回程度の休日の活動
	年間	7月 コンクールへの参加 ※コロナ禍以前は、定期演奏会、地域のイベントに参加をしていた。
保険加入等		スポーツ安全保険へ加入(生徒28名、指導者1名)

【活動の様子（写真添付）】

